

## 平成 26 年度 第 4 回 新潟市北区郷土博物館協議会 会議概要

日 時： 平成 27 年 3 月 26 日（木曜日） 15 時 00 分 ～ 17 時 00 分  
会 場： 新潟市北区郷土博物館 図書室  
出席委員： （会長）杉本耕一、（副会長）寺山知子、（委員）小黒 忠、月岡徳恵、  
上松鉄雄、高橋久隆、田村祐一、伊藤裕美子、鈴木 梢  
欠席委員： 島 吾郎  
傍 聴 者： なし  
事 務 局： （博物館）宮崎芳春館長、神田直子学芸員、塩原賢信主査  
（地域課）坂井靖彦  
資 料： 当日配布 <資料 1> <資料 2>

### 会議概要

#### 1 開会

##### 司会（塩原主査）

ただいまから平成 26 年度第 4 回新潟市北区郷土博物館協議会を開催します。  
本日は委員 10 名のうち 9 名が出席していらっしゃいますので、会議は成立しています。  
傍聴はありません。

#### 2 会長（杉本耕一）あいさつ

ごめんください。やっと春がきたという今日この頃です。  
さて、本日は 26 年度最後の博物館協議会です。活発なご意見をお願いします。

#### 3 北区地域課長（坂井靖彦）あいさつ

みなさまにおかれましては、ご多用のところお集まりいただきありがとうございます。  
本日は、平成 26 年度第 4 回目、今年度最後の博物館協議会です。  
このたび異動することとなりました。2 年間、みなさまからは大変お世話になり、御礼  
申し上げます。引き続き、博物館をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

##### 司会（塩原主査）

では、これより議事進行を杉本会長にお願いします。

#### 4 議事

（杉本会長） では早速、議事に入りたいと思います。  
まずは会議次第の議事（1）「平成 26 年度 新潟市北区郷土博物館事業報告」を、博物館  
からお願いします。

## (1) 平成 26 年度 新潟市北区郷土博物館事業報告について

(神田学芸員) 平成 26 年度新潟市北区郷土博物館事業について、〈資料 1〉に基づいて報告。

<質疑応答>

(杉本会長) 今年度の事業報告について、なにか質問やご意見はありますか。

(寺山副会長) ジュニア絵画展の応募点数が、462 点ということでしたが、昨年とくらべてどうだったのですか。

(神田学芸員) 昨年度は 670 点の応募がありました。208 点の減少です。特に、小学 1・2 年生が 248 点から約半分の 142 点に、小学 3・4 年生が 118 点から 49 点に減りました。

このジュニア絵画展のテーマは「ふるさとの自然・風景」なのですが、実際、小学校では学校の外に写生に出かけるということが難しくなっていることもあり、こうしたテーマに沿った作品を描く機会がないという事情を反映しているのだと思います。

中学校では、美術の時間数が少ないこともあり、さらに応募点数が少ないのが実情です。

(寺山副会長) テーマを広げるというのはどうなのでしょう。

(神田学芸員) 実際、応募される作品のテーマは、学校生活や校舎、体験学習の思い出や、日常生活に基づいたものがほとんどです。テーマも、「ふるさとの自然・風景」としていますが、実際は学校生活に関連したものが多く、「地域」という考え方を、学校生活（行事を含む）や、地域の風物、行事、家庭の生活という題材まで、テーマを拡大して「地域」を捉えてきました。従って、学校の体験学習として「北区外」での活動も含めています。

(宮崎館長) このジュニア絵画展は、豊栄市博物館時代の平成 11 年に、「ふるさとの自然・風景を描くことを通して、身近な自然や郷土の文化への認識を深めてもらうために」始めたもので、このような趣旨だからこそ博物館で続けてきたわけです。

近年は、さまざまなコンクールがある中で、学校の先生方は、この作品はこのコンクールに、このテーマの作品はこのコンクールに応募するというように、応募先を選択している状況かと思います。現状では、そういう中の一つに、この博物館のコンクールがあるということなのだと思います。応募点数を増やす対策として例えば、「その他、テーマ「自由」といったものを加えるのかどうかなど、検討していくことも可能かもしれませんが、いずれにしても「北区の自然」というテーマをなくしてしまえば、この展覧会の意義がなくなってしまうということもあり、難しいところです。

(杉本会長) 以前は、博物館主催で福島潟の写生大会などを行っていましたよね。

(宮崎館長) 参加する人が少なくなったことと、そこへの参加がかならずしも応募に結びついていかないという点があり、中止しました。

(鈴木委員) 資料に、本館、横井の丘資料館の入館数とか、学校の団体観覧が何校あって何人来たかということが書いてありますが、小学生であれば、どんな学校の何年生が来るのか。一般の来館者についても、どんな人がどこから来ているのか、という入館状況の把握が出来るかという点だと思います。入館料をとっていない館なのでそうした把握は難しいとは思いますが。

(宮崎館長) 横井の資料館に来る小学生は3年生です。学校で「むかしのくらし」という単元がありますので、その学習のために来ます。本館では、子供の団体観覧はありません。大人の団体観覧のほとんどが、「市政バス」による施設見学の一環としての見学です。

(伊藤委員) 以前、漁具を探しているとおっしゃっていましたが、その後、そういった新しい民具の資料は収蔵されたのでしょうか。また、資料整理作業はどのくらいまで進んでいるのですか。

(宮崎館長)

民具のなかでも、特に漁具の収集は難しいです。呼びかけて、漁具などの収集を目指したのですが、なかなか集まりません。調査してみてわかったことは、実際、使用し続けてきた道具なので、損傷が激しい。特に海の漁具は難しい。錆が出るのですよね。使えるうちは使って、使えなくなったら捨てるということなのです。使用中の道具を、保存・展示のために寄贈していただくということになると難しいです。

(伊藤委員) 映像資料として残す必要がありますね。

(宮崎館長) 写真資料はなんとか手にはいるのですが。現実として、漁をしている船にカメラをつみこんで撮影するという事は難しいと思います。

(寺山副会長) 松浜の資料はどうですか。

(宮崎館長) 松浜の漁具は、新潟市が集めていましたので、新潟市歴史博物館（みなとぴあ）に収蔵されていますが、それでもやはり断片的です。

## (2) 平成 27 年度 新潟市北区郷土博物館事業計画について

(宮崎館長) <資料 2>に基づいて説明。

<質疑応答>

(杉本会長) 来年度の事業報計画、なにか質問やご意見はありますか。

(杉本会長) 常設展のグランドオープンはいつですか。

(宮崎館長) 平成28年、11月3日です。

(伊藤委員) 来年度5月が仮オープンで、本格的なオープンが来年11月ということですが、その間、どのように内容が変化し、入館者数がどのように変わったか、という記録も大事だと思いますので、ぜひ、記録をとっておいて下さい。

(杉本会長) 来年度一杯で、展示のめどがつくわけですね。今後は、リニューアルした常設展をどうアピールしていくかということも問題となりますね。

(宮崎館長) ポスターでの周知、ガイドブックの作成など、広報面と普及面で考えていきたいと思います。

(伊藤委員) 資料は眠らせないでください。常設展がリニューアルされたとしても、そのまま同じであれば、ほかの資料が眠ったままになってしまいます。

(宮崎館長) グランドオープンの時には、常設展を補完するような形で、ホールでも企画展を行い、常設展と企画展とで両方みていただけるようにしたいと思っています。

(杉本会長) 結局、リニューアルしたといっても、限られた狭いスペースなので、十分な展示とはならないわけですね。展示の方法なども工夫が必要になってきますね。

(伊藤委員) むかしのくらしを体験させるために、民具の貸出しや実際にそれで体験させるということは、実感してもらうためのよいことだと思うのですが。資料の活用にもなるのではないですか。

(坂井課長) 博物館は、資料を収集するとともに保存していく使命があります。北区の宝をよい保存環境のもとで、保存していくことが大切だと思います。

(杉本会長) 山口賢俊の資料の活用はどうですか。

(宮崎館長) 博物館に寄贈してもらっていますが、整理が進んでいません。いずれ整理してまとめたいと思います。

(杉本会長) 常設展以外の事業についてなにか質問、ご意見はありますか。

(高橋委員) 没後20年弦巻松蔭展で、講演を予定されている野中吟雪先生はどういった方でいらっしゃいますか。松蔭先生とどういう繋がりのある方ですか。

(神田) 野中吟雪先生は、書家でいらっしゃるとともに、新潟大学の書道科で長年教えていらっしゃって、現在は、新潟大学名誉教授です。書家でいらっしゃるの、もち

ろん松蔭先生をご存じでいらっしゃると思いますが、お弟子さんとか、後輩ということではありません。今回は、常設展示終了と没後 20 年の節目ということが重なったこともあり、書家 弦巻松蔭の書業を回顧する試みです。ですから、客観的なお立場から、松蔭の書を語っていただこうと、野中先生にお願いしたのです。

(杉本会長) ほかに質問、ご意見はありませんか。  
それでは議事を終了します。

### **(3) 委員の任期満了について**

(宮崎館長) みなさま、本日はご審議をいただきありがとうございました。  
また、今回をもちまして、みなさまの任期満了となります。2年間、ありがとうございました。

## **5 閉会**